

日本漢方交流会 学術部主催 第11回 冬期合宿講習会

ご案内(第2弾)

テーマ：『漢方医薬学の実践』

日時：平成31年 1月 13, 14日(日、月 連休) 1泊2日

場所：“ホテルビナリオ嵯峨嵐山”(旧コミュニティ嵯峨野)
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4 TEL (075) 871-9711
最寄り駅：JR山陰線『嵯峨嵐山駅』

費用：交流会会員 1万8千円(1泊4食付)
一般 2万1千円(1泊4食付)

定員：85名(残席27 9月15日現在)

対象：薬剤師、医師、鍼灸師、登録販売者、又それらの学生に限る

講師：中央漢方薬局 荻谷賢治 先生

* 漢方薬生薬認定薬剤師制度(必須研修 6単位 予定)

漢方医薬学を志しますと、まず“傷寒論”を紐解きます。そして“金匱要略”と進み、江戸時代に活躍なさった名医の著作集へと目移ります。しかし、読み下し、暗記するだけでは、医療にはなりません。2000年昔より出来上がった漢方処方、現代になっても、多くは追加されてはいません。平成の食文化、自然環境の変化の中で、工夫無くして大昔の薬が、効果的に力を発揮するとは考えられません。ご著名な漢方家は、皆様それぞれ独自の工夫をなさり、鍵と鍵穴を合わせ“方証一致”にもっていき、治療効果を上げています。

次回の荻谷賢治先生は、“気功”を取り入れ、漢方治療の補足となさっていらっしゃると思います。巷には、立派なご講演をなさる割に、健康的でなく、お手本にならない講師をお見かけしますが、この点では、荻谷先生はご自身も健康的で、溢れるエネルギーで病んだ患者様方の救い主になられていらっしゃいます。

我々医療者は、実践あるのみです。冬期合宿講習会では、メインテーマに“漢方医薬学の実践”と掲げて参りました。薬局には、薬系漢方家ならではの治療のノウハウがあります。それを学ばれる事により“かかりつけ薬局”としての立場も構築できます。是非ご参加下さい。

申込郵便振替：口座番号 00920-4-156702 ・ 口座名義：日本漢方交流会 合宿講習会

連絡先：日本漢方交流会 学術部 須藤 朝代

FAX：075-314-7417 ・ E-mail：nishikyougoku-yakkyoku@leto.eonet.ne.jp

* 宿泊部屋は主に2～3人部屋ですので、同室希望者がおありの方は振込用紙にご記入下さい。只、身体的理由で相部屋がご無理の方は、上記にFAX、又はメールにてご連絡下さい。ご相談に応じさせていただきます。テキストを発送致しますので、振込用紙に住所をご記入ください。又、お振込頂きました参加費は返却できません。詳しい事、残席情報は、漢方交流会のホームページをご覧ください。